

第478回臨時会

▽前野由和議員
り災証明は、家屋が被害を受けていなくても、その周囲で利用している生活道が崩壊した状況の中でり災証明は発行できるのか。



大石雅夫 住民課長

り災証明の発行ができない場合には、被災証明を別に発行し対応している。

第479回定例会



西村正尚 議員

道路橋梁費は、どこの橋を修繕するのか。



中澤 巨 産業建設課長

道路橋梁点検で、4判定のヨボウシ橋を設計中、間もなく発注予定である。



ヨボウシ橋



藤丸高德 議員

本町の介護認定を受けている方の割合は。

▽大石雅夫住民課長

第1号被保険者(65歳以上)2,197名中、要支援155名、要支援2 85名、要介

護1 81名、要介護2 74名、要介護3 77名、要介護4 70名、要介護5 51名、認定者数は493名で、1号被保険者の認定率22.4%である。

人事案件

教育委員会教育委員の任命

(賛成・全員)



住所 大豊町 佐藤 由美子

氏名 藤丸 富子 (Tomiko Fujimaru)

住所 大豊町 藤丸 富子

人権擁護委員候補者の推薦 (賛成・全員)



住所 大豊町 中村 大王

氏名 佐竹 範久 (Norihisa Sakeno)

住所 大豊町 佐竹 範久

第478回臨時会 緊急質問

答 問

豪雨災害の対応を問う 復旧に全力を尽くす



前野由和 議員

豪雨被害は全容が明らかになるほど拡大している。町長は、孤立した地域へ直接に足を踏み入れて、実情をつかまれていると思うが、地域を大事にする住民が、こんな時こそ皆がここで頑張ろうと思いを固めて、自力復旧などに努力されてい

る。地域に住み続けたい要望にどう応えていくのか。 岩崎憲一郎町長 まずは、人命救助を優先し、並行しながら孤立集落の解消のために土砂を取り除く等応急処置を実施している。1日も早い復旧を目指す。長期間、住民の皆さんには不便、迷惑をかける状況が町内各所にある。復旧に際しては、地域の意見も伺いながら取り組んでいく。



立川地区の災害状況

町政を問う

第479回定例会 (一般質問)

1

問 避難場所の設備は万全か

Q A

答 設備を整える



小笠原妙子 議員

町内の7カ所の町指定避難場所及び、指定以外の集会所等に設置されている設備、備品は、整備されているのか。また、指定以外避難場所へ避難された方は把握できているか。

避難状況



岩崎憲一郎町長 それぞれの施設は会議等で利用しており、施設にある設備を利用し、その上で必要な物

2

問 廃プラスチックゴミの処理の対応を聞く

Q A

答 順次処理をしていく

▽小笠原妙子議員

昨年4月から12月までの9カ月間、ゴミ焼却場の改良工事に伴い、プラスチックゴミを旧高須トンネルにストックしているが、そのゴミが大量で驚いている。

新しい焼却場では、プラスチックゴミを投入することによって炉が高温になり、少しづつしか焼却でき



ストックしているプラスチックゴミ

きない現状にある。この処理の対応を聞く。 岩崎憲一郎町長 本山町を除く土佐町、大川村、そして本町は同じ状態でストックをしている。新しい施設は、プラスチックゴミを大量に焼却することによって炉が高温になり異常をおこすので、施設の適正な運営の中で、長期間に渡っての処理が必要だと考えている。本町の場合は雨のかららない状態で保管をしているが、他町村では野積み部分もあり、そうした部分を優先して処理をした後に順次処理をしていく。

3

問 集落の維持を問う

Q A

答 集落の維持、運営に関する経費の活用を



重森一宗 議員

近年、異常気象による災害が多発している。その災害時の対応について、高齢者が中心の集落においては、リーダーの方たちが動けば動くほど、いろんな所で経費が発生するが、「み

んなで支える郷づくり事業」の中に少額でも、緊急を要する災害時に対応できる経費を加えたらどうか。

岩崎憲一郎町長 みんなで支える郷づくり事業の中に集落の維持、運営に関する経費を対象に一定の定額補助制度がある。

4

問 林業におけるコストの削減を問う

Q A

答 努力をしていく

▽重森一宗議員

林業の「生産者から消費者」の中間に、林業業者・運送事業・市場・加工業者等が経済活動を行っている。その中間でコス

トの削減を図れば生産者と消費者に利益になるが、コストの削減で急がれる対策とは何なのか。